

姉妹都市派遣事業を通して

明見中学校

勝俣 凌河

今回の姉妹都市派遣事業では、これまでにないほどの貴重な体験をすることができました。

私はコロラドに行く前、楽しい気持ちの反面、不安な気持ちがありました。しかし、実際に行ってみるとホームステイ先の方々や出会う人皆が親切に接してくれたおかげで安心して臨めました。

最初にコロラドに着いたときに、日本より乾燥していて過ごしやすそうだなと思いました。そして何より驚いたのが町の広さです。一人で歩いていると迷いそうになるほどの広さでした。私はそこで本当に海外に来たんだなと実感しました。

私がこの9日間で思い出に残ったことはいくつかあります。1つ目は、ホームステイです。ホストファミリーはコロラドの有名な観光所や動物園など様々な場所に連れていってくれました。また、英語がわからないときに自分の理解できる言葉で話しかけてくれて感謝しています。ホストファミリーの方のおかげで素晴らしい時間を過ごせました。

2つ目は、ロイヤルゴージブリッジです。世界一の吊り橋として有名な場所で橋からの眺めは少し怖かったですが、とてもいい景色で清々しい気持ちになりました。

3つ目は、パーティーのときに披露した合唱とソーラン節です。事前研修からずっと練習してきた成果を発揮して今まで以上のものにすることができました。私たちがコロラドに来た目的の1つは富士吉田市の文化を伝えることなので富士の山という合唱を歌って、それを伝えられて良かったです。発表の後にホストファミリーの方や市長さんに褒められて嬉しく思いました。

コロラドを過ごす中で気づいたことがあります。それは、人々が皆、思いやりの心を持っていることです。私がドアをくぐろうとしたときに、前の人がドアを押えていてくれました。日本では滅多に見ない光景なのに、コロラドの人々は当たり前のように行っていて驚嘆しました。日本人とは異なる点を発見しそれを見て、見習おうと思いました。

また、思いやりの心を持っているとともに、友好的であることに気づきました。例えば、ホストファミリーと出かけているときに知り合いでもない人とホストファミリーがまるで知り合いのように会話をしていました。これもまた日本ではありえないことで、日本人にもこういった積極性があればいいなと感じました。

この派遣事業を通して私はコロラドについて知ったこと、文化を家族や友人に教えていきたいと思います。現地に行くことでしかわからないことを私自ら伝えていきたいです。

それから、私は海外に行って世界の広さを感じました。コロラドだけでなく他の国、地域にいつか訪れてみたいと思いました。

英語に関しても、まだまだ力不足だなと実感しました。これからは発音にも力を注いで世

界で通用するような英語力を身につけていきたいです。

今思うと本当にあっという間な9日間でした。そして、とても有意義な時間を過ごすことができました。また海外に行く機会があったら訪れたいです。

今回の派遣事業では多くの方の支援があつてこそだと思います。支えてくださった家族、学校の先生方、市の職員の皆様、引率の先生方に感謝しています。本当にありがとうございました。